



Weekly Report 2019-2020

会長：島谷隆 / 幹事：植田真治 / 会長エレクト：辻隆志 / 副幹事：吉本委子 / S.A.A: 鈴木雅博

今週のプログラム	第 2450 回	1 月 24 日
客話「地方企業 × 海外展開 × SDGs」産業革新機構 佐藤 哲 様		
担当者	プログラム委員長	例会場 JRクレメントホテル高松

先週のプログラム	第 2449 回	1 月 17 日
誕生日卓話：木内会員		
担当者	プログラム委員長	例会場 JRクレメントホテル高松



島谷会長挨拶



植田幹事報告



誕生日卓話：木内会員



高松グリーンRCよりIMのご案内

島谷会長挨拶

・先週の新年会では、沢山の方のご参加を頂き有難うございました。当日予定していた方がインフルエンザにかかるというアクシデントがありましたが、親睦委員会の皆さんの機転、また皆さんのご協力によりまして何人かの会員の今年の抱負などお聞かせいただきました。楽しい新年会になり有難うございました。

今月は職業奉仕月間です。定款第6条2「奉仕の第2部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。」となっております。「職業奉仕はロータリーの金看板である」。この言葉は、職業奉仕がロータリーの基本理念であり、ロータリアンはそれを誇りにしていると思います。ではどうすればいいのでしょうか。それは言うまでもなく、毎週金曜日例会に出席して、親睦の中にお互いの発想を

交換し、切磋琢磨して自分を磨くことでしょう。次々週の職業奉仕フォーラムを楽しみにしております。

植田幹事報告

- ・先週お伝えした「香川のちの電話通信 第76号」「第42回 RYLA セミナーのご案内」「国際大会ハワイでの日本人親善食事会についてのお願い」を回覧致します。
- ・「ハイライトよねやま」と「薬物乱用防止広報強化月間の実施について」こちらも回覧致します。
- ・「ガバナー月信・1月号」「ロータリーの友・1月号」お持ち帰り下さい。
- ・鳥養会員のジャズバンド「ポップシーズ」が結成25周年を迎えられ記念コンサートが開催されます。チラシがありますので回覧致します。2月23日(日)13:30～国分寺ホール

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

1月24日 今日は何の日	今日生まれの有名人
とげぬき地蔵大祭/ボーイスカウト創立記念日	1968年 林葉直子 1947年 尾崎将司
1972年 グアム島で横井庄一さん発見	1951年 五輪真弓 1936年 野際陽子
1984年 アップルコンピュータがMacintoshを発表	1948年 里中満智子 1936年 市原悦子
誕生花	極楽鳥(ストレリチア)、花言葉は“恋の伊達者”
誕生石	エメラルド(emerald)、宝石言葉は“幸福”

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30～13:30 (第1例会のみ 18:30～19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)
[http://www.88club.com/rc/2019pdf/01-24 .pdf](http://www.88club.com/rc/2019pdf/01-24.pdf)

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

ニコニコBOX	
多田さんの一日でも早くの快復をお祈り申し上げます。本日は所用で早退させていただきます。	村上
新年おめでとうございます。先週の例会、長尾さん親睦委員会のみなさん、どうもありがとうございました。	松木
卓話を聞いていただき、ありがとうございました。	木内
妻に誕生日祝をいただきて。	鈴木
遅刻	3件
合計 7 件	
本日の合計	15,500円
2019-2020年度累計	671,000円

ビジター

高松RC 向井 幸司 様 谷本 治仁 様
 高松グリーンRC 八田 憲明 様 真鍋 健彦 様

メイクアップ

1月9日 ワールド大阪ロータリーEクラブ 伊藤
 1月14日 高松東RC 泉谷
 1月14日 高松中央RC 木内 藤田
 1月16日 高松グリーンRC 近藤 野口 鏡原 江島

例会変更

1月27日(月) 高松北RCは高松防災合同庁舎/職場例会に変更
 1月28日(火) 高松東RC18:30親睦夜間例会に変更

出席報告		出席委員長：岡田和幸	
会員数 /	57名	出席規準数 /	53名
出席者数 /	27名	欠席者数 /	26名
出席率 /	50.94%	ビジター /	4名
最終出席率 /12月20日	61.40%	→	75.44%

2019-2020年度 定例理事会報告

日時 2019年12月17日(金) 13:30～
 場所 JRホテルクレメント高松例会場
 出席者 島谷、植田、石川、稲井、金光、鈴木、辻、
 オブザーバー吉本
 議題 ・国際ロータリー第2670地区「首里城火災に対する各クラブからの支援金のお願い」について
 今回高松西RCからの支援金は無し
 ・キャビネット内に溜まった書類について
 個人の所有物なので処分はせず、今回はレターパックで各会員に送る。
 ・多田会員に1万円の入院お見舞い金をお渡しします。

次期RI会長が2020-21年度会長テーマを発表

国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏(ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属)が、1月20日、サンディエゴ(米国カリフォルニア州)で開催中の国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会をとらえるよう呼びかけました。

クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて2020-21年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。



ロータリーは機会の扉を開く

7月1日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。

「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる、クナーク氏は述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」

未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的なかたちで成長できる方法を考えるよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

「新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります」と述べたクナーク氏。「どの新会員も、私たちに少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学ぶことで、私たちはより強くなります」

ロータリーの行動計画はクラブの進化を導く羅針盤であると指摘したクナーク氏は、全クラブが少なくとも年1回、戦略計画会議を開くことを勧めました。この会議で、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであると話します。

クナーク氏はまた、リーダー職にもっと多くの女性が就くこと、クラブの結成と運営にローターアクターが不可欠な役割を果たすこと、ロータリー会員であることの意味を考え直すこと、若い人たちに新クラブの設計者になってもらうことを提唱しました。

「新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません」とクナーク会長エレクト。「自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクターたち自らに決めてもらおうではありませんか。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです」

ロータリー会員が変化を受け入れることの必要性を強調した上で、「時間は私たちのためにスローダウンしてくれない」とクナーク氏は訴えます。「私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです」

次週のプログラム 第2451回 1月31日

フォーラム：職業奉仕

担当者 職業奉仕委員長 例会場 JRクレメントホテル高松